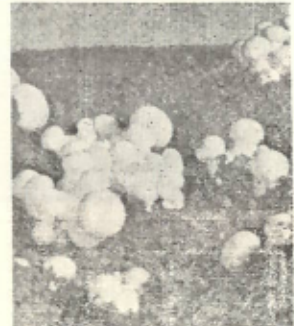


マツシユルーム —西洋松茸— 町内でも栽培はじまる



ことしから、町内でマツシユルーム(西洋松茸)の栽培が始められ、四月末から六月末(西洋松茸)の栽培が始められ、四月末から六月末にかけて収穫されることになる計画です。

このマツシユルームは、温度の変り易い、坪当たり約五貫、貴化が少なく換気できる建物で栽培。坪当たり約五貫、最高はしなければなりません。そこで坪十二貫、四十八坪が見込まれて、坪当りの栽培費は、堆肥の乾燥機を利用して伊方六〇坪、肥料の乾燥機は、坪当り約七坪、計一三二坪を栽培。代が百五十円、肥料乾燥機代が約二百七十円、その他諸費として、坪当たり千円以上を要する。坪当たりの材料代が若干あるが自家製の古材を活用し、坪当たり千円以上を要する。

伊方で生産されたマツシユルームの栽培が期待されています。喜木のシユス工場で栽培。マツシユルームは毎日収穫後五時、全部出荷されることになって、間以内工場へ搬入しなければなりません。伊方で生産されたマツシユルームは、組合長が選ばれています。上春だけは栽培できません。

一月下旬栽培の伏せ込みを始め、カットはマツシユルーム。

大東亞戦争

大東亞戦争において、近代民主主義的人倫社会を構成する、百八十万と云う成り、平和主義の宣言は非道性のある、専ら人命が失われ、戦争を止揚する世紀の誤謬を犯した。そして父や夫や、先駆的意義をもつのである。子をなくし、悲しむ。この新しい人倫関係を形成するしんだんはこれに於て、日本人自身の手によって作られたものである。この新しい人倫関係を形成するしんだんは、これに於て、日本人自身の手によって作られたものである。この新しい人倫関係を形成するしんだんは、これに於て、日本人自身の手によって作られたものである。

今後の課題

川口 寛之
ここに新しい人倫を確立するために、それによって、従って、従来の基礎には、おなじく古い人倫関係と意識とが強く生きておる。

6,924人

12月20日現在有権者数
毎年9月15日現在でつくられる本選挙人名簿は、去る12月20日に確定しました。確定当日の部落別有権者数は下のとおりです。

部落名	男	女	計
大中之内	245	274	519
大中之内	113	113	226
大中之内	181	198	379
大中之内	176	211	387
大中之内	241	317	558
大中之内	42	41	83
大中之内	104	116	220
大中之内	74	79	153
大中之内	82	91	173
大中之内	113	134	247
大中之内	270	320	590
大中之内	103	110	213
大中之内	324	331	655
大中之内	115	108	223
大中之内	141	136	277
大中之内	140	130	270
大中之内	114	137	251
大中之内	72	91	163
大中之内	92	102	194
大中之内	76	85	161
大中之内	78	95	173
大中之内	145	155	300
大中之内	65	76	141
大中之内	91	103	194
大中之内	81	88	169
計	3,283	3,641	6,924

世界の百余カ国が参加する 農業の国勢調査

一九六〇年世界農業センサス
来る二月一日から、農業の国勢調査というべき、一九六〇年世界農業センサスの本調査が行なわれます。

この世界農業センサスとは、「経済統計に関する国際協約」によつて世界百余カ国と共同に行なう調査のことです。一九五一年(昭和二十六)年九月サンフランシスコで平和協約が締結されたとき日本もこの協約に正式に加盟したのです。この協約に加盟している諸国は国際連合の農業機関であるFAO(国際連合食糧農業機関)の「センサス要綱」によつて、十年毎に一回センサスを行なう。国際比較のできる統計を作つて国際連合に報告する義務があるのです。

このセンサスのねらい
わが国全部の農業や林業を調査するのはこの世界農業センサスだけでは、単に国連に報告するための統計をつくるだけでなく、次のセンサスが行なわれるまでの十年間、わが国の国勢、とくに農業に必要とする統計資料をつくるという大切な任務が、このセンサスにはあるのです。またこんどのセンサスは県や市町村に設立するよう努力されていることが大きな特色で、今までの統計では調査票は全部中央に集められていたのが、今回は、調査票は全部市町村で保管する事になっていきます。

調査を受ける世帯
調査対象となるのは農家と林家ですが、この調査では次のように約束されています。
●農家は、経営している耕地面積が五畝歩以上



調査時間の平均は40分

アメリカへの 三つの募集

アメリカへ3年間の出稼
家族で南米に移住
独身でブラジルに移住

独身者でブラジルに移住するには、現地に知人が居て呼び寄せてもらうか、もしくは、日本で各種青年隊に入隊して移住する。募集期間は、去る12月25日(入隊資格18才から25才までの独身青年男子)で身体健康なもので、訓練期間一年、終了後南米開発青年隊を編成し、南米ブラジル州アマゾン地区への移住者が募集されている。去年上旬大塚久万町及柳谷村出身者が集団移住し、成果をあげている。募集期間は、去る12月25日(入隊資格18才から25才までの独身青年男子)で身体健康なもので、訓練期間一年、終了後南米開発青年隊を編成し、南米ブラジル州アマゾン地区への移住者が募集されている。募集期間は、去る12月25日(入隊資格18才から25才までの独身青年男子)で身体健康なもので、訓練期間一年、終了後南米開発青年隊を編成し、南米ブラジル州アマゾン地区への移住者が募集されている。

昭和35年1月1日現在伊方町の世帯数2,593戸 人口12,707人(男6,262 女6,445)

婚姻(十二月届分)

出生(十二月届分)

死亡(十二月届分)

御礼

伊方町出身で高知市にお住まいの、矢野誠氏から広報編集の費用に、香千円の御寄金をいただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

編集後記

伊方町出身で町外で御話の方々へ(従来から)の広報を伊方町からのおたよりにかえてお送りしてきましたが、その名簿が不足などのため非常に不正確なものとなつたため、こんど送迎先名簿をつくりかえたいという方がありました。ご協力をお願いいたします。

非常に多くの町外の方から本紙の購読料についての問合せがありますが、伊方町出身の方は無料で、非町外の方は有料です。紙上でお伝えいたします。